

平成 15 年 1 月 24 日

環境活動推進課



## 平成 15 年度 札幌市エコライフ WEEK 事業(冬版)

### 1 札幌市の温暖化対策

環境基本計画では 2017 年の市民一人当たり二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を 1990 年と比べ 10%削減することを目標としていますが、すでに 1990 年から 1997 年までに一人当たり 10.6%増えています。

本市の CO<sub>2</sub> 排出の約 85%は民生・運輸部門から排出されており、生活様式の変更が求められています。

### 2 環境家計簿への取り組み

環境家計簿では、エネルギー等のチェックにより、家庭生活に伴う CO<sub>2</sub> の排出量が計算でき、同時に家計のチェックもできます。

札幌市では平成 10 年に、市民・事業者などの集まりである「札幌市環境保全活動推進会議」の意見を取り入れ「北国のエコアクション札幌 環境家計簿札幌市民番」を作成し、環境家計簿への取り組みを進めてきました。

### 3 平成 14 年度事業概要

平成 14 年 9 月に行われたヨハネスブルグサミットにおいて京都議定書が発効されるといわれ、それに併せて環境に関心のない方も手軽に取り組むことができることを目的に週間版の「環境かけいぼ」を作成しました。

「環境かけいぼ」は市民・企業の方や小学生(5・6 年生)に配布し、1 週間行動をチェックした後、その成果を提出していただきました。

- ・ 配布数 約 60,000 部
- ・ 提出された家計簿 約 1,500 部(そのうち小学生 154 部)

小学校には夏休み前に配布し、夏休みの自由研究に活用されることを期待しましたが、低調でした。

#### 4 平成 15 年度事業の展開

平成 14 年度は夏季の行動チェックであったので、15 年度はエネルギー消費の多くなる冬季を対象時期として行います。

20 校程度の協力を得て、5・6 年生を対象に環境家計簿に基づいた取り組み市実践してもらう。対象児童は 4,000 人程度(100 人/学年×2 学年×20 校)と考えています。

#### 5 総合学習(環境教育)での取り組みのために

教育委員会・学校と環境局の協働で事業を進めるために、現場の先生と話し合い、環境家計簿の内容を考えたいと思います。

次年度以降も環境家計簿を教材として活用するために、授業の進行や結果の取りまとめ方についても現場の声取り入れたいと思います。

環境家計簿作成の費用は環境局で負担します。

継 続

**CO<sub>2</sub> 排出量の少ない生活様式へ  
市民一人当たり排出量削減目標の達成**